



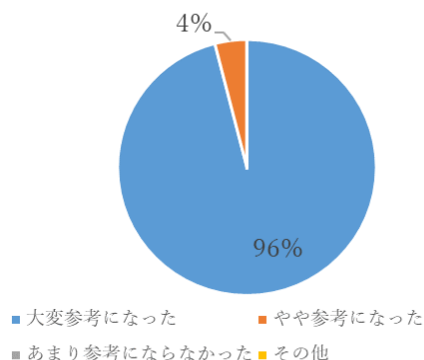
## 10月27日（土）P T A特別講演

場所 橋本高等学校 視聴覚教室  
 テーマ 青年期の子どもとの接し方 ～親の心構えとは～  
 参加者 本校P T A会員 教職員

講師 鈴木由美教授  
 聖徳大学児童学部児童学科 教授  
 臨床心理士・学校心理士・上級学校カウンセラー

講演の内容 教育現場での学生との交流や、ご自身の子育ての経験などから、子どもたちとどのように接するべきかという課題について具体的な事例を交えながらお話してくださいました。“しだいに親離れしていく子どもとの時間をどう過ごしていくか” “子どもの考えや行動を、まずは親がどのように認めて受け容れるべきか” という、子どもに接する保護者の気持ちについても、ご自身の指導の経験などから語っていただきました。子どもとのコミュニケーションの大切さ、まずは、じっくりと3分間は話を聞くことの大切さには多くの保護者の方々が共鳴していました。先生の研究対象である脳のお話については、人間の能力の伸長に関わる「幸せのニューロン」の存在や、記憶力向上が期待される食べ物など、子どもの発達に食べるものの大事さに気づかされた講演でした。講演を聞いた保護者の方々の中には元気ももらった」という声も多かったです。

## ★ アンケート集計結果



○子供の為だけではなく自分の為にもなる話だったので、参加できて良かったです。1時間半では物足りなくずっと聞いてみたいです。  
 ○大変参考になりました。お話が楽しく、おもしろく、もっと色々聞きたかったです。家に帰って今日聞いた事を実践したいと思います。

○子供の話を聞いているつもりになっていましたが、先生のお話を聞いて、“3分聞く”を挑戦してみようと思いました

○子どものお話を聞く大切さ、3分間は聞いていないかと反省しました。両親の考えを言う大切さも。高校生になって一緒に過ごせる時間がへりましたが、なるべく楽しいことを一緒にできるようにしていきたいと思いました。

○先生のお話は笑いをまじえながらあきる事なく聞く事ができました。私は先生の話しを自分の為に使っていききたいと思います。サラミをぜひ食べます。

○私は子供が三人いますが、本当にそれぞれみなちがいが、参考になりました。思い当たるところが多あり本当に来て良かったです。先生の本を探して読んでみたいです。先生のファンになりました。食事、今日から取り入れて影ながら子供達を応援していきたいと思っています。

○とにかく3分間、子供の話をきいてみよう!!と深く思いました。さっそく、本日から…。とっても難しいことですね。母も日々勉強。定期的にこの様な場は現代の子育てにおいて、大変必要だと感じました。これからも子育て、がんばります!!ととても元気が出ました。

抜粋